

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（サービス評価期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしている。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援事業」や「夜間・休日相談事業」の受諾をしている。小規模多機能事業所では、公文学習療法や地域の脳トレ教室へ職員を派遣し地域交流を深める努力をしている。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、ふるさと訪問（石垣・宮古・久米島）を実施している。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	平田いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	1人	1人	1人	2人	5人	2人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員間の情報共有は重要事項である。継続してシステムを活用していく。	気づきの為の「きらきらノート」の作成は利用者さんの小さな変化と職員の気持ちを現した。情報共有は必要事項であるが、職員の力量により共有できない部分も見受けられる。	・きらきらノートの作成は良いアイデアと思った。また利用者の小さな変化だけではなく、職員の様子も情報共有できると支援方法の幅が広がり良いと思う。 ・ふるさと訪問の継続は素晴らしい。	○引き続きスタッフ全員が申し送り帳やちょうじゅ入力システムを活用、また「きらきらノート」の記入をまめに行い情報の共有を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・外見からも小規模多機能の入口がわかるよう工夫行う。 ・玄関自動ドアスイッチをきってある場合、手動である事の表示を行う。 ・職員目線・趣味の掲示になっていないか注意を行う。	・玄関先へ看板の取り付けを行った。 ・玄関自動ドアが手動でも開けられるよう表示を行った。 ・掲示物の目線は意識できたが、掲示物が季節外れの物、職員嗜好、掲示物が少ないか・・検討が必要である。	・広い敷地であり、多様な事業所がある為、初回訪問時に場所がわからなかった。 ・道路からも解るよう案内板があればと思った。 ・玄関に入ると生花がいつも飾られ、心地良い環境だと思う。 ・看板の設置や、玄関自動ドアの手動の表示等、さっそく改善されてわかりやすくなった。	○一般道路側、マチュピチュ前駐車場側へ案内の看板を取り付ける。  ○掲示物を見極め、掲示場所の検討を随時行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・利用者さんの今までの地域（生活）との繋がりが切れないような支援を継続していく。（美容室・商店等の利用） ・今まで通っていた地域ミニデイとの交流を増やしていく。	・南城市大城ミニデイ、玉城百名ミニデイの利用を継続する事ができた。 ・脳トレ教室へ職員を派遣し地域交流をする事ができた。 ・毎月1回薬草研究をされている講師を招き（つきしろ在）フットケアを実施している。	・運営推進会議で複数地区の民生員さんが出席されており、顔なじみの利用者も多く、地域と良い関係が築けている様に感じる。 ・職員が実施可能な範囲で利用者の希望を実現して欲しい。 ・利用者さんが笑顔になれる、馴染みの関係性を継続して欲しい。	○小規模事業所に地域の方を招く事が出来ていないため、イベント（勉強会・交流会等）を計画実行していく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ小規模の役割を地域住民に伝えきれていない所がある。事業所広報誌を活用しながら、近隣、ミニデイと共有できるよう図る。</li> <li>・南城市発行の広報誌を活用し、地域行事・イベントへの参加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南城市広報誌を活用し、地域へ出掛ける事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議にて行事様子（写真）や報告を受け、地域へ出掛けている様子が良くわかりました。</li> <li>・それぞれの利用者の出身地域のイベントなどの参加により顔なじみや知り合いに会う事ができ良かったと思います。</li> <li>・利用者家族さんへ「近所で一人暮らしの高齢者はいないか」「気になる方はいないか」等の声掛けをこれからも行って欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南城市イベント等への参加を継続する。</li> <li>○小規模の役割を地域へ伝える事を継続する。（事業所の広報誌発行し配布発送等を行う）</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議参加者が一緒にできる行事（避難訓練等）の充実を図る。</li> <li>・利用者の地域に目を向け参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議参加者と共に避難訓練ができた。</li> <li>・意見を取り入れ業務へ組み込む事が出来た（服薬管理や送迎時の表示等々）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内見学の計画を行って欲しい。</li> <li>・地域への取り組みを一緒に進めている状況を確認できました。</li> <li>・地域での福祉ネットワークを更に強め、活発な意見が言える会議になればと思った。</li> <li>・運営推進会議報告の中で、各担当が報告を行い役割が明確化され報告内容がわかりやすかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議の会議内容を検討し（事例検討や勉強会・遠足等々）充実できる会議を実行していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議参加者と共に避難訓練を実施していく。</li> <li>・小規模建物の両サイド事業所と防災・災害対策を情報共有していく。</li> <li>・防災・災害時の対応を職員間で勉強及びシュミレーションを行う。</li> <li>・利用者さんの地域避難場所の確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の職員を招き、会議参加者と共に避難訓練ができた。</li> <li>・小規模建物両サイド事業所と避難訓練を実施する事ができた。</li> <li>・利用者さんの地域避難場所の確認がまだまだ不十分である為今後行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の方の講話は大変役に立ったので、今後も継続してもらいたい。</li> <li>・小規模建物両サイド事業所との合同訓練は今後も連携を強化して被害を最小限にする努力は引き続き必要だと思います。</li> <li>・地域住民が事業所へ避難する事はできるのか検討お願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防署との連携、他事業所との連携を今後行っていく。</li> <li>○地域住民の避難場所として提供できる環境や物資を備蓄していく。</li> <li>○地域の避難場所の確認を利用者さんと共に行っていく。</li> </ul>